

ぷらざ・朝日

PLAZA・ASAHI

VOL.34

2022 NOVEMBER

発行日/2022年11月1日
企画編集/広報委員会



栄養サポートチョコを
共同開発しました！



C O N T E N T

巻頭挨拶

病院の理念・方針・患者さんの権利 ご挨拶

PICK UP

新診療科紹介/医療機器紹介/Covid-19の取り組みについて

TOPICS

初代病院長 村上 治朗 先生の胸像除幕式 寄贈時計の除幕式
肺がんへの向き合い方と最新治療をみんなで学ぼう2022 in 岐阜 ほか

健康センターだより/訪問看護ステーションだより

From Rehabilitation はじめよう! 続けよう! 転ばぬ先の運動

医食同源 旬の食材でしっかり食物繊維摂取

 朝日大学病院

TEL(058)253-8001(代) FAX(058)253-5165(総合受付)

総合健診センター TEL(058)251-8001(代) FAX(058)251-1231

血液浄化センター TEL(058)251-1163(代) FAX(058)253-9922

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地
<https://www.hosp.asahi-u.ac.jp/>



 朝日大学病院

病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重します。
2. 医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を行います。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分な説明を行い、承諾を得たうえで医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 思いやりの心と敬意を持って医療を行います。
9. 地域における他医療機関・福祉施設との連携を推進します。
10. 医療・福祉関係者に対して教育・研修の場を提供します。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。
12. 健全な経営に努めます。

2022年4月1日作成

患者さんへのお願い

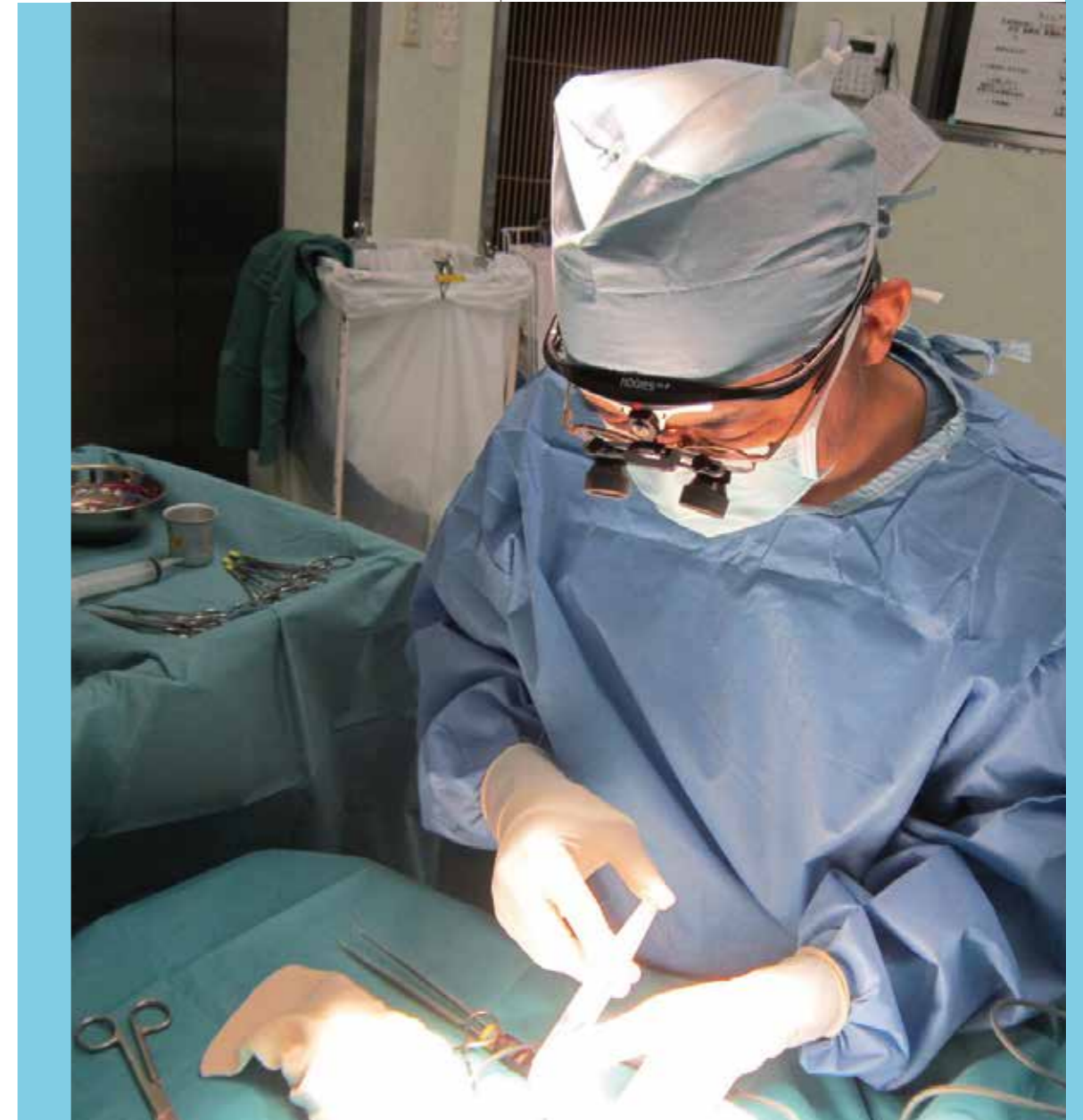
患者さんに最適な医療を提供するために、以下のことをお守りください。

1. ご自身の病歴、健康に関する情報、診療中の身体の変化などを正確に伝えてください。
2. 治療や検査などの方針に関する説明に対して、明確に意思表示をしてください。
3. 治療は医療者との協働作業であることを理解し、治療効果を最大化するために治療計画等を遵守してください。
4. 病院内及び公共のルールを遵守し、他の利用者へも配慮してください。
5. 他の患者さん、見舞客、職員等に対する嫌がらせ、セクハラ等の迷惑行為を行わないようにしてください。
6. 医療費等の請求を受けたら速やかにお支払いください。
7. これらのお願いに従っていただけない場合、診療の拒否、院外への退去をお願いすることがあります。

2022年4月1日作成

G
R
E
E
T
I
N
G

ご挨拶



朝日大学病院はその創立以来、「地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。」という理念を掲げまして、今日まで活動して参りました。ぶらざ・朝日33号発行以降、2021年4月に皮膚科を設置、さらに2022年4月からは「慢性頭痛と痛みの外来」も開設しました。また、2022年秋には「脊椎センター」を開設します。私が本院に赴任しました2009年と比較

べますと、診療科は5科増えまして、医師の数も常勤医が47名から73名と増えております。本院のユニークな点は、医科と歯科との連携が強く、摂食嚥下リハビリなどを積極的に行なっている点です。急性期医療のみならず、社会または家庭復帰、そして在宅医療にいたるまで、一貫した安心な医療を今後も提供して参ります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

副病院長 江原 英俊

地域の睡眠医療の連携構築をめざして

睡眠医療センター センター長 大倉 睦美

健康を支える3大要素の1つである睡眠は関心も高く、成人の30%以上が不眠症状を抱えているといわれています。一方で睡眠の病気は不眠、閉塞性睡眠時無呼吸だけでなくたくさんの疾患があり、何科に相談したらいいかわからないということもあるかと思えます。

睡眠医療センターは、2020年10月に開設いたしました。岐阜県内の病院としては初の日本睡眠学会専門医療機関(A型)です。睡眠の詳細な検査(終夜睡眠ポリグラフ検査)、過眠症の検査(睡眠潜時反復検査)が可能で、閉塞性睡眠時無呼吸はもちろん、過眠症やRestless Legs Syndrome、レム睡眠行動異常症など幅広い睡眠関連疾患全般の診療をおこなっております。20年以上の睡眠医療経験のある医師と臨床検査技師が対応させていただいております。是非一度自身やご家族の睡眠に目を向けてみて、何か気になることがあれば気軽にご相談ください。



積極的に最新治療を取り入れて最適な皮膚科治療を

皮膚科 教授 清島 真理子

2021年4月より常勤医と非常勤医各1名で診療を行っています。診察は月、水、金の午前と月、火の午後で、手術やアレルギー検査は火曜の午前に行います。湿疹のようなcommon diseaseから乾癬、下腿潰瘍のような難治性皮膚疾患、皮膚がんまで広範囲に皮膚疾患の診断・治療を行います。内服や外用薬を処方するだけでなく、患者さんやご家族に外用指導を行っています。また紫外線治療や手術も含めて適切な治療を心がけています。アトピー性皮膚炎や乾癬など治りにくい皮膚疾患に次々と有効な新規治療が使えるようになり、当科でも多数の患者さんに導入しています。地域の先生方と連携しつつ、積極的に診断・治療に取り組むよう努力しています。



専門的な診療とともに、他科や地域と連携した医療サービスを

頭頸部外科・耳鼻咽喉科 教授 松塚 崇

頭頸部外科・耳鼻咽喉科の扱う病気は一般に耳、鼻・副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、気管、食道、唾液腺、甲状腺など頭頸部疾患やアレルギーなどであり、領域と病気の原因は多岐にわたります。

朝日大学病院 頭頸部外科・耳鼻咽喉科は2022年7月から常勤2名、非常勤2名体制で診療を行っています。常勤2名はいずれも耳鼻咽喉科専門医、頭頸部がん専門医、内分泌外科専門医です。電子内視鏡やナビゲーションシステムなどの最新の検査・手術機器を備え、安全で確実な診療を行っています。また、当科は頭頸部センターに属しており歯科・口腔外科と連携しております。さらに、かかりつけ医の診療機関や院内関連診療科とも連携して切れ目のない診療を目指しております。



頭痛外来(ペインクリニック)ご存知ですか?

慢性頭痛と痛みの外来 教授 下畑 敬子

「慢性頭痛と痛みの外来」は、頭痛外来と痛みの診療(ペインクリニック外来)を行う専門外来で、2022年3月に開設されました。頭痛専門医とペインクリニック専門医をもつ麻酔科医が診療を行っています。対象疾患は、片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、薬剤の使用過多による頭痛、後頭神経痛、帯状疱疹後神経痛、三叉神経痛、腰痛、坐骨神経痛などです。治療は、薬物療法や神経ブロックなどを組み合わせて行っています。頭痛専門医は岐阜県に11名と少ない現状で、また、頭痛で病院を受診することはハードルが高いと考えられる方も多いと思いますが、適切な治療により生活が一変することも多く経験しております。ジェンダーを活かしたあたたかい診療につとめてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



バイプレーンアンギオグラフィシステム(血管造影X線撮影装置)

最新の血管造影X線装置を導入しました。

血管造影検査とは、手首や肘、足の付け根にある血管からカテーテル挿入し、目的の血管に達したところで造影剤を注入し血管の画像を撮影する検査です。この検査では、CTやMRIなどの検査では見ることのできない細かい血管まで撮影することができます。また、カテーテルから血管内治療の器具を挿入し使用することで、体への負担の少ない血管内治療(IVR)を行うことも可能です。

バイプレーンアンギオグラフィシステムでは、同時に2方向からの血管の情報が得られることで、複雑な走行の血管に対し、安全かつ精度の高いカテーテル操作が可能となります。また1回の造影剤注入で2方向の血管の画像を撮影が可能のため、使用する造影剤を減らすことができ、より低侵襲な検査、治療が可能となります。



MRI

この度、磁気共鳴画像装置(MRI)を更新しました。冷却ヘリウムガスを従来機器と比べ、大幅に減らしたモデルで、東海地区で2例目、県下初の装置となります。

貴重な天然資源の使用量削減にもつながり、大学の提唱する持続可能な開発目標(SDGs)につながります。併せて、検査時に音楽や、映像が流れ、検査台の開口径の拡大も相まって、快適性が増しました。

環境にも、患者様にも優しいMRI検査を目指してまいります。



コロナ禍での放射線治療

放射線治療科 准教授 田中 修 放射線部 主任 谷口 拓矢

現在、新型コロナウイルス感染症の猛威によって、病院の通常診療に大きな影響を来しています。しかし、患者さんを苦しめる病気は新型コロナだけではありません。日本国内で年間30万人が癌治療を受け、3人に1人が癌でお亡くなりになります。そのため、コロナ禍であっても可能な限り癌治療を中止したり延期したりすることは避けるべきと考えております。当院の放射線治療科では、各種学会が推奨する感染対策のもと、地域の感染状況も考慮し、放射線治療の回数を減らした短期間照射を取り入れ、通院による負担と感染リスクを低減するなど、患者さん一人一人に寄り添った治療の提供を心掛けております。



コロナ禍での歯科診療室における感染対策

歯科衛生部 士長 松原 恵子

歯科衛生士は、飛沫が生じるような、お口に直接触れる処置が避けられません。そのため、ネット上においてcovid-19感染リスクの最も高い職業として公表されました。それに対し、歯科衛生部として強い危機感を抱きましたが、手指衛生等の従来からの感染対策を徹底する事こそが重要であると考え対策しました。その一部をご紹介します。

- 1.【口腔外バキューム】(強制排気装置:図①)の使用を徹底する。
 - 2.環境整備チェックリスト(図②)を見直し、診療室の衛生環境管理を徹底する。
- 当院では、20台ある歯科ユニットの全てに【口腔外バキューム】を併設しております。
- 患者さんに、安心・安全な歯科治療を受けて頂けるように、今後も知見のアップデートを行いながら感染対策に努めてまいります。



出張ハローワークを開始しました

2020年12月から病院内で就労相談ができる出張ハローワークを始めました。ハローワーク岐阜の方が月に1回当院に来ていただき、外来・入院関係なく就労と治療を両立するためのサポートをしてくれます。とりわけがん治療は長引く場合が多く、入院から退院後のことまで仕事に対する不安を取り除くための相談に乗ってくれます。基本的には毎月最終月曜日の10時～15時に開催しています。予約なしでも相談にのれますが、岐阜労働局(058-247-3211)に予約電話を入れていただくとスムーズに待ち時間が無く相談ができます。

事務部 副部長 浅野 一男
放射線治療科 准教授 田中 修



寄贈時計の除幕式

2021年10月25日に第三代病院長 井田 和徳 先生のご遺族から寄贈を受けた壁掛け時計の設置に係る除幕式を挙行いたしました。

この時計は、井田 和徳 先生のご意向に沿い、ご遺族から寄附を受けたもので、本館1階総合受付待合ホールの壁面に設置されました。

直径900mmのサイズは視認性も高く、患者さんを始め、教職員にとっても大変有益な環境をご提供いただきました。



この度のご寄贈に感謝し、引き続き地域医療に貢献できるよう努めてまいります。

事務部 管理課長 井川 裕平
事務部 管理課 谷口 綾菜



初代病院長 村上 治朗 先生の胸像除幕式

本院 初代病院長 村上治朗先生の胸像並びに顕彰記念碑の除幕式を、2021年7月9日に挙行了しました。

村上先生は、京都帝国大学を卒業、岐阜市民病院外科部長を経て岐阜市内に開業。戦後、岐阜市若宮町に村上外科病院を設置。後に学校法人朝日大学の前身である岐阜歯科大学に同病院を寄附され、初代病院長にご就任になりました。

村上先生のご長男で、村上医院耳鼻咽喉科(岐阜県各務原市)の村上力夫理事長をはじめご親族、来賓として旧村上外科病院設置に多大なるご支援を賜った岐阜市を代表して柴橋正直市長、岐阜ロータリークラブから杉山幹夫岐阜新聞社最高顧問、辻正インフォアーム会長にもご来臨を賜り、院内関係者と共に執り行いました。

岐阜歯科大学創立から50年目となる本年、朝日大学病院は、あらためて村上先生のご功績を振り返り、「地域医療への寄与」という精神を職員一同、今後も引き継いで参ります。

事務部 管理課長 井川 裕平
事務部 管理課 谷口 綾菜



栄養サポートチョコを共同開発

このたび、本院、朝日大学学生及び(株)鈴木栄光堂様(大垣市)が共同で手軽に栄養を補給できる「栄養サポートチョコ」を開発しました。

9月下旬までクラウドファンディングサイト「Makuake」にて先行販売を開始し、11月から本院のほかいくつかのローソン店舗で順次販売を開始していきます。

管理栄養士、作業療法士と事務職員が協力して、患者さんの役に立つ商品を開発することができないかと発想し、朝日大学学生の支援も得ることで学生の学びにも役に立つのでは?と思い立ち、経営学部中畑教授とそのゼミ生達と協議を重ねてこの商品に行き着きました。

(株)鈴木栄光堂様は「ひとりじめスイーツ」という自慢の商品があり、ここで活かされている割れチョコの技術を今回の商品にも応用していただきました。味は豆乳味とほ

うじ茶味で、ほうじ茶は揖斐産のお茶を使用しており、煎り大豆やキヌアを使用して食感も楽しんでいただける商品となりました。

病院から退院された患者さんが、不足しがちな栄養をご自宅ですぐに摂っていただけるものとなりました。

少しでも美味しく、健康に役立てられたらと願っています。是非、ご賞味あれ!!

事務部長 加藤 祐司



日本肺癌学会主催

肺がんへの向き合い方と最新治療をみんなで学ぼう2022 in 岐阜

毎年日本肺癌学会は日本の各地で市民講座を開催しています。今年は岐阜県で開催され、岐阜や愛知を中心に肺がんのエキスパート医師が8名、さらになんてんくの方と弁護士の方も列席いただきました。そして司会は誰もが知る笠井信輔アナウンサーに担っていただき、非常にスムーズに最後まで市民講座を開催することができました。私は放

射線治療、とりわけピンポイント照射についてお話をしました。今回は私の他に外科の先生、化学療法の先生、緩和ケアの先生と多岐にわたる先生によるパネルディスカッションもありました。肺がん治療は多岐にわたり治療方法の違いなどを皆様にお届けでき、実りのある市民講座であったと思います。

放射線治療科 准教授 田中 修

総合健診センター

医事一課長補佐 小林 小恵子

2021年9月に日本総合健診医学会の優良施設の实地調査が行われ、無事に更新認定されました。日本人間ドック学会の機能評価ともに優良施設認定を継続しております。2つの学会から優良施設の基準を充たしている施設は岐阜県内では1施設のみです。

当健診センターでは、コロナ禍が続く今、受診者様が安全に健診を受診できるように出来る限りの感染対策に努めております。特に肺機能検査については、感染拡大当初は受診様へ検査の中止をお願いしておりましたが、検査室内にブースを設置し、ブース内の空気を直接外部に排気できる様、改修を行いました。安心して検査を受けていただくことが可能となりました。また、検査をお待ちいただく席は間隔をあけて受診者様ごとに指定制といたしました。各検査については検査終了ごとに消毒を徹底しております。この様に健診中は快適に時間を過ごしていただくように配慮しております。なお、受診をいただく際の注意事項については、事前に案内をさせ

ていただいております。今後、受診を予定されている方はホームページをご覧ください。ご受診いただきますと幸いです。

また、2022年4月から健診システムを更新し、できる限りペーパーレス化して、データでの管理に移行しました。受診者様には、事前に配布する質問表はOCR化し、記入していただく内容も簡素化しております。結果報告書も更新し、再検査判定の明確化、添付できる画像も多くなりました。データベース化することで、効率的に運用できる様な仕組みに変更することができました。このことで、業務の時間の短縮が図れ、その分の時間は受診者様へのサービス向上に繋げていきたいと考えております。

健診センターでは、受けてよかったと思っただけの満足度の高い健診の提供に努め、スタッフ一同、皆様のご利用をお待ちしております。

NEWS

Home-visit Nursing Service station

訪問看護 ステーション 便り

2020年に「朝日スマイル訪問看護ステーション」を開業して3年目に入りました。名前の由来は、地域の皆様が「安心して笑顔で暮らせるように」という思いが込められています。コロナ禍でのスタートでしたが、利用者は徐々に増え、現在約50名のお宅へ訪問しています。

スタッフは看護師3名、理学療法士1名、作業療法士1名、事務1名です。訪問看護は、医師の指示により、看護師または療法士が自宅へ伺って、病気の悪化防止や、回復に向けてのお手伝いをしています。時には病院と同じように、自宅で点滴をすることもあります。

院内にありますので、病院との連携もスムーズです。当院に通院歴がなくても、かかりつけ医に相談し、利用することができます。ぜひご相談ください。

朝日スマイル訪問看護ステーション 管理者 梅田 康子



結果報告書



人間ドック健診施設機能評価認定証



優良施設認定証



待合席



肺機能検査室



はじめよう！ 続けよう！ 転ばぬ先の運動 リハビリテーション部 副療法士長 福島 賢二

リハビリテーション部の対象患者さんには転倒による骨折などの怪我をされた方がいらっしゃいます。

特に高齢者の方が転倒をしてしまうと骨折に結びつきやすく、そのまま寝たきりにつながるおそれもあります。2019年厚生労働省「国民生活基礎調査」では介護が必要となった原因は転倒・骨折の割合が12.5%を占めます。これは介護原因の4番目にあたります。高齢者の転倒を防ぐ重要性は高いと考えます。

転倒の危険因子には内的要因と外的要因があります。

内的要因とは体の筋力やバランス能力などの運動機能の低下です。転倒予防の1つには内的要因の低下を防止する事で転ばない体を作ることです。そのためには、「立つ・歩く際に必要な筋力を保つ」「バランス能力を保つ」ことが重要です。

今回のFrom Rehabilitationでは、起立・歩行時に体を支えるのに重要な抗重力筋(大殿筋・大腿四頭筋・下腿三頭筋など)の運動やバランスの運動を紹介したいと思います。

ふらつかないようテーブルなどにつかまって行ってください

抗重力筋の運動

(1)スクワット

- ① 両足を肩幅より少し広げ、つま先を30度ほど外側に向けて立ちます。
- ② 腰を後に引くようにゆっくりとした膝の曲げ伸ばしを1回あたり10秒くらいかけて行います(図1)。10回を1セットで1日に2セットを行います。
※膝を痛めないように、つま先より前に膝が出ないように注意します。



図1

(2)踵上げ運動

両脚で立った状態から踵を上げて、ゆっくり踵を下ろす運動を10秒かけて行います(図2)。10回を1セットで1日2セット行います。



図2

バランスの運動

(3)片脚立ち運動

転倒しないように、テーブルなど必ず何かにつかまって行います。片方の足が床につかないように片脚を上げます(図3)。左右交互に1分間ずつ片脚立ちを保持します。左右を2~3回行います。



図3

衰えは足元から始まります。歩行が可能な時から継続して運動を行うことをお勧めします。そして、運動をする事が転倒予防となり「健康寿命」を延ばすのに重要と考えます。

注意点 運動で筋肉痛が出るのは問題ありませんが、関節痛が少しでも出る時は運動の中止をお願いします。

医食同源

NO.19

管理栄養士 浅野 一信

旬の食材でしっかり食物繊維摂取

日本人の食物繊維の摂取量は少ないと言われており、1日350gの野菜を摂取することが推奨されています。

「日本人の食事摂取基準」(2020年版)では男性21g以上、女性18g以上を食物繊維の1日の摂取目標量として定めています。一番食物繊維を摂取している年代である60歳以上でも、1日の平均食物繊維量は16g程度にとどまっており、現代の日本人の食生活では食物繊維が不足していることが分かっています。

食物繊維は小腸で消化・吸収されずに、大腸まで達する食品成分です。食物繊維には様々な働きがあり、腸内細菌のエサとなり、腸内環境を整える働きがあります。食物繊維は水分を吸収し膨らむことで腸を刺激し便通を促す

ため、便秘の予防効果があります。さらに、糖質や脂質などを吸着し、吸収を緩やかにすることで、血糖値の上昇の抑制、血中コレステロール濃度を低下させる働きがあります。不足しがちな食品成分ですので、積極的に摂取することが勧められます。

食欲の秋。いろいろな食材が美味しい季節となりました。今回は秋が旬の食材を使い、1食で食物繊維6~7gが取れるメニューを紹介します。



豆腐入りバーグのキノコ餡かけ (材料 4人分)

【キノコ餡】

しいたけ・・・4個
舞茸・・・1/3パック
しめじ・・・1/2束
えのき・・・1/2束
なめこ・・・1袋
大根・・・100g
しょうゆ・・・大さじ2
酒・・・大さじ1
みりん・・・大さじ1
塩・・・少々
水・・・200ml
万能ねぎ・・・2本

【豆腐入りハンバーグ】

玉ねぎ・・・小1個
挽肉・・・Mサイズ 1パック
木綿豆腐・・・1丁
パン粉・・・1/2カップ
卵・・・1個
塩・・・小さじ1/2
コショウ・・・少々



【作り方】

【キノコ餡】

1. 大根をすりおろす。
2. 鍋に水200ml、調味料Aをいれ、キノコを加えて加熱する。キノコに火が通ったら、大根おろしを加え、ひと煮立ちさせる。彩に小口切りにした万能ねぎを加える。

【豆腐入りハンバーグ】

1. 玉ねぎをみじん切りにする。フライパンに油を少量入れ、弱~中火で炒める。
2. ボウルにパン粉、卵、つぶした豆腐を加え混ぜ合わせ、挽肉と調味料Bを加える。
3. 炒めた玉ねぎを冷まらずそのままボウルに入れ、よく混ぜ合わせる。
4. ハンバーグのタネを4人分になるように分け、ハンバーグの形に形成する。
5. 熱したフライパンに油をしき、中火で表面に焼き色がつく程度に火を通したら、ひっくり返して、裏面を焼き色がつくまで焼く。弱火にし、フライパンに蓋をして、10分程度蒸し焼きにする。
6. 皿に盛り付け、キノコ餡を上からかける。

ほうれん草の白和え

(材料 4人分)

木綿豆腐・・・1/2丁(150g)
ほうれん草・・・1/2束
すりごま・・・大さじ2
醤油・・・大さじ1
砂糖・・・大さじ1/2
ほんだし・・・小さじ1/2
塩・・・適宜



【作り方】

1. 豆腐は1/4サイズに切りお皿にのせ、電子レンジで3~4分ほど加熱する。
2. 余分な水分をよく切る。
3. 鍋に湯を沸かし、ほうれん草を入れて1分ほど茹で、水にとり、水気を絞ってよく洗い、2~3cmくらいの長さになるように切る。
4. すり鉢にすりごまを入れ、よく練る。
5. 調味料と豆腐を加え、滑らかになるまですり潰す。
6. ほうれん草を加え和える。
7. 器に盛り付ける。

具だくさん味噌汁

(材料 4人分)

大根・・・200g
人参・・・1本
昆布・・・1枚(出汁用昆布)
白菜・・・2枚
木綿豆腐・・・1/2丁
長ネギ・・・1本
味噌・・・大さじ2
ほんだし・・・小さじ1
水・・・700ml



【作り方】

1. 大根と人参は2~3mmの厚さのイチョウ切りにする。
2. 白菜は食べやすい大きさに小さく切る。
3. 豆腐は1.5cm各に切る。ねぎは小口切にする。
4. 鍋に分量の水をいれる。大根、人参、白菜、昆布をいれ、火にかける。
5. 野菜に火が通ったら、出汁用の昆布を取り出し、千切りにし、鍋に戻す。
6. 味噌を溶かし入れ、ほんだしを加える。
7. 豆腐を加え、ひと煮立ちさせる。
8. 器に盛り付け、彩に小口切りにした万能ねぎをのせる。